

理学部紹介

理学部長 室伏 きみ子

理学部は好奇心の花園

以前、学園便りにも書いたのですが、理学部は「好奇心の花園」だと、私は思っています。教育熱心な先生方、研究の虫のような先生方、そして、若くて柔軟な頭脳に沢山ものを吸収しようとしている若い学生さん達が集って、大いに好奇心と創造力を働かせ、学園の花を咲かせようとしている場所が、私たちの理学部なのです。

本学の理学部がどんな構成になっているかなどという情報は、「大学案内」に詳しく述べられていますので、是非そちらをご覧ください。先生方の研究や教育の内容については、「大学案内」や「大学院案内」、あるいはホームページに説明がありますが、もっと興味がある方は、是非理学部の先生方の研究室を訪ねて下さい。きっと先生方は喜んで、皆さんの訪問をお迎えするでしょう。

ここでは、あまり知られていない理学部の一面をご紹介します。私たちは、幾つかの学部独自の、或いは理学部が中心となった、若い研究者・教育者の支援や社会貢献の試みを行っています。例えば、本学の若手研究者（助手、大学院生、研究生等）を対象にした奨学金があります。「保井・黒田奨学金」と名付けられたこの奨学金は、日本初の女性博士である保井コノ先生（生物学者）と、保井先生と並んで日本初の女性

黒田 チカ博士
(1884~1968)湯浅 年子博士
(1909~1980)保井 コノ博士
(1880~1971)

博士の研究でイレーヌ・ジョリオ・キュリー夫妻と共に原子物理学研究と日仏研究者の橋渡しに生涯を傾けた湯浅年子先生（物理学）を記念して作られたもので、受賞者には半年間のフランス留学の「褒美」まで付いています。

これまで数多くの研究者・教育者を輩出したお茶の水の理学部が、世界に誇る先輩達を記念して作られたこれらの奨学金は、研究を志す若い人々を励まし、その世界的な活躍を応援しているのです。

理学部では、社会貢献の一環として、今問題になっている「理科離れ」に対応して子ども達に本当に面白い「理科」を知って貰いたいとの思いから、現職教員や子ども達のための体験学習も盛んに行っています。主に卒業

大学教授になられた黒田チカ先生（化学）を記念して作られたもので、毎年一名程度の優秀な若手女性研究者に授与されています。

また卒業生を含む若手研究者を対象とした「湯浅年子記念特別研究員奨学金」は、第二次大戦を

生のためのフォーラムや講習会も開かれ、要請があれば理学部の先生方が全国の高校に出かけて行って、先端的な科学研究のお話をすること（出前授業と呼んでいます）も実施しています。毎年三月に行われる「お茶の水博士の体験授業」は、講演、実習、研究室公開、パネル展示などで、理学部の教育・研究を広く公開しており、今年度も楽しい体験授業を実施するために、委員の先生方がアイデアを練っています。

私たちはこれからもずっと、「豊かな知性を身につけ、状況を的確に把握して、正しい判断が出来る人材」を育て、「リーダーとして活躍できる女性」を作るための努力を続けたいと考えています。そして、世界の各地に、お茶の水から育った美しい好奇心の花を沢山咲かせたいと考えています。



(大学ページ <http://www.ocha.ac.jp/>)
(理学部ページ <http://www.s.cc.ocha.ac.jp/>)